

## RENOVAの由来

当社の社名である「RENOVA」は、「再生可能」を意味する英語“renewable”の“renew”の語源であるラテン語“Renovarent”に由来しております。再生可能エネルギーの普及を通じて持続可能な社会の実現をリードする、新しい星“Nova”でありたいという想いも込められています。

## ロゴマークについて

RENOVAのロゴマークは持続可能な社会を意味しています。外向きに広がる青い羽は、太陽、風車、水車、タービン、循環・再生のイメージがモチーフです。また、再生可能エネルギーが世界中に広がっていくことを象徴しております。コーポレートカラーの青は、エネルギー変革により実現される、ゆたかな地球をイメージした色です。持続可能な社会の広がり、多様なステークホルダーの皆さまとともに実現していくRENOVAのミッションを体現したロゴマークとなっています。

自然と、あなたと、ともに未来へ。



株式会社レノバ



株式会社レノバ  
[www.renovainc.com](http://www.renovainc.com)

太陽、海風、森、大地。

あなたの頭上にひろがる自然のちからを、  
あなたの足もとで育まれる自然のめぐみを、  
大切に引き出していくために。

いつでも、いつまでも。

一緒に考え、動き、分かちあい、支えあいながら、  
このまちに生きるあなたの想いに応えていくために。

私たちは、自然と、あなたと、どこまでも歩いていく。  
はじめは小さく、ささやかかもしれない。  
けれど、今ともに踏み出すこの一歩が、  
エネルギーで困ることのない100年後をつくっていく。

ひたむきに、ひたすらに、できることのすべてを尽くして。  
再生可能エネルギーで、ゆたかな地球と暮らしを次の世代へ。  
私たちは、レノバです。

自然と、あなたと、ともに未来へ。

RENOVA



### 100年後のエネルギーのために。

近年、気候変動の問題はますます深刻化して、世界中でCO<sub>2</sub>を出さないエネルギーへの転換が急速に進みつつあります。この潮流の鍵となるのが「再生可能エネルギー」です。太陽光、風力、バイオマス、地熱等の自然の恵みから、グリーンなエネルギーをつくり出せます。

私たちレノバは、国内外の自然ゆたかな場所で、地域の皆さまとともに、再生可能エネルギーの発電所の開発・運営に取り組んでいます。今後も、エネルギーを必要とする人々の生活を支える責任を胸に、再生可能エネルギー事業を通じた脱炭素社会の実現、地球規模の社会課題の解決を目指します。

## 自然と地域と共存共栄する 再エネ発電所を目指して

再生可能エネルギー資源の多くは、地域の自然の中にあります。そのため、事業性の評価・検討から始まるすべてのプロセスを通じて地域の皆さまとの対話を重ね、ご理解とご協力を得て、ともに地域に貢献する事業をつくり上げることが必要不可欠です。

レノバでは、事業開発、エンジニアリング、オペレーション、ファイナンス、需要家開拓といった専門性を備えた自社チームが、再生可能エネルギー専門のプロフェッショナルとして開発から運営まで一貫通貫で推進。環境や安全に配慮し、地域経済・社会の活性化に役立つ、地域と共存共栄する発電所を長期にわたって安心・安全に運営していきます。

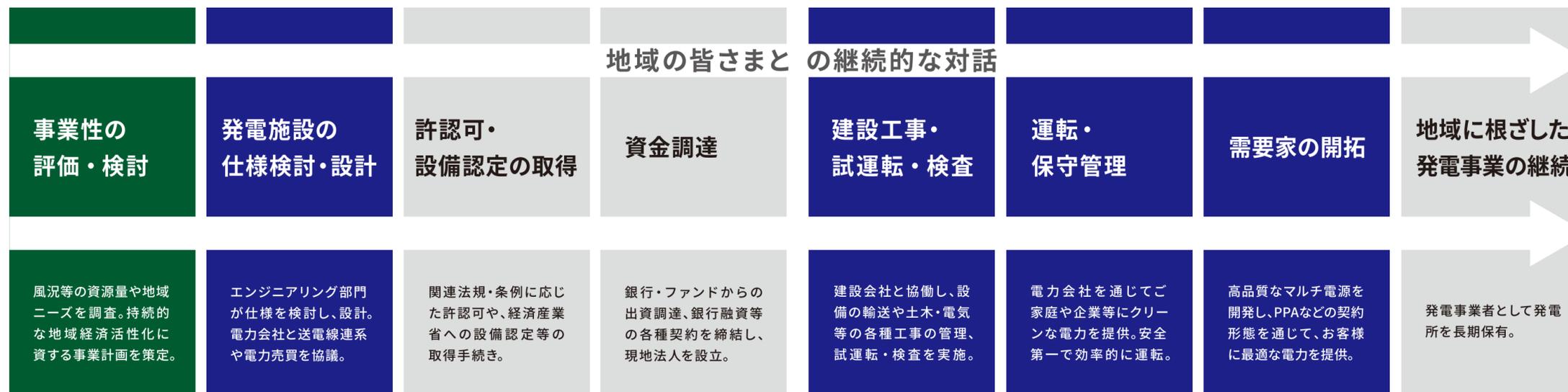


## 自然条件・ニーズを踏まえた 最適解を導くエンジニアリング

自然条件と地域のニーズを深く理解し、自然と共生する発電所を実現するために、最適解を導いていくのがレノバ流のエンジニアリングです。幅広い専門性と経験、再生可能エネルギーへの情熱を備えたマルチエンジニアが、国内外の優れた技術を徹底調査して取り入れています。

法的な基準をクリアするだけでなく、自然の地形を活かして設計し、近年過酷化する自然災害に備えるための森林保護柵や調整池・浸水池などの周辺地域も含めた防災にも力を入れています。運転開始後も、全国の各発電所でも現地での対策に加えて、各地の情報を本社に集約し、遠隔からも安全・安心を守る仕組み・体制を構築しています。

### 事業の開発から運営まで一貫通貫で推進





# 太陽光

Solar PV



# 蓄電池

Storage Battery

## 地域と自然に耳を傾けることから始まる第一歩。

レノバは、日本全国で大型太陽光発電所の開発・運営を行ってまいりました。開発から建設、運転開始後のメンテナンスまですべてのプロセスを一貫して統括し、地域に寄り添いながら、災害に強い、安心・安全で安定した発電所の運営に取り組んでまいりました。これまでの開発で培った知見や技術を活かしながら、遊休地などを活用したNon-FIT太陽光発電事業の開発を進めています。



## 再エネの需給安定、そして導入拡大へ。

太陽光発電や風力発電は、発電量が天候等の影響を受けて変動しますが、再生可能エネルギーを増やしていくためには電力の安定化が重要です。レノバは、電力網の様々な場所に蓄電池を設置・運用することで、再生可能エネルギーの主力電源化を支える調整機能を担うとともに、電力システムの安定化や更なる再生可能エネルギーの導入拡大に貢献します。





# 風力

Wind Power

## 地域とともに、風力で未来を創る。

風は地球全体で広く存在する自然エネルギー源で、風力発電は再生可能エネルギーとして大きなポテンシャルを持っています。世界的にも導入が進んでおり、再生可能エネルギーによる発電量の約半分を担っています。レノバでは国内外で風力発電の開発を進めています。



# バイオマス

Biomass

## 地域社会との共生と安全を最優先としたベースロード電源へ。

レノバは、日本全国7カ所で大型バイオマス発電所の開発・運営を行っています。国内の未利用材から作られた木質チップや、海外の木質ペレット、パーム椰子殻（PKS）などのバイオマス資源を燃料として活用しており、再生可能エネルギーでありながら、気候や周辺環境の自然条件に影響されず、安定した出力で発電が可能なベースロード電源です。





## 100年後の地球と暮らしのために。

レノバは2000年の創業以来、一貫して「環境とエネルギーの問題を解決する」という旗印の下で事業を進めてきました。自然と共生し、50年後も100年後も持続可能な形で人々の生活にエネルギーを供給する。そんな発電所を、世界中に実現したい。それが私たちレノバの夢です。地域の皆さま、多様なパートナーの皆さまと一体となって、この夢に取り組んでいきたいと思っています。

今後、間違いなく、再生可能エネルギーは世界のエネルギーの中心を占める存在となります。そうなったとき、エネルギーで困ることのない、安心・安全で心地よい社会が訪れることでしょう。レノバは再生可能エネルギーという自然の力を最大限活用して、ゆたかな地球と暮らしを未来の世代につないでいくために、これからも挑戦し続けます。

株式会社レノバ 代表取締役社長 CEO 木南 陽介

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

レノバは2050年の脱炭素社会実現への貢献にコミットします。

ZERO EMISSIONS CHALLENGE